

## II 診療実績

### 1. 内科

透析センター長兼腎臓内科部長 石津 隆

2020年5月に中村日出子先生の後任として石津が着任いたしました。徐々に医師が増加し、10月からは腎臓内科常勤医4名体制となっております。診療内容を質量ともに充実させ、一緒に働く仲間を更に増やしていきたいと考えております。当科の患者さんは合併症が多く、全ての科の先生方にお世話になっており感謝に堪えません。病院の診療の質の向上に寄与していきたいと存じます。コロナ禍の中、皆様大変なこと存じますが、ご協力のほどお願い申し上げます。

#### 疾病・術式・検査名 (2020)

##### 透析センター

新規血液透析導入患者数	21名
糖尿病性腎症	4名
急性血液浄化療法施行	
持続血液濾過 (CHF)	0回
持続血液透析 (CHD)	0回
持続血液濾過透析 (CHDF)	87回
血液透析 (HD)	11,950回
転入血液透析患者数	12名
転出血液透析患者数	1名
腎移植施行血液透析患者数	0名
内シャント関連手術件数	87件
内シャントPTA(経皮的血管拡張術)	76件

疾病・術式・検査名 (2020)

単位：件

代謝・内分泌領域

糖尿病教育入院	146
---------	-----

循環器内科領域

心臓MR I	127
冠動脈C T	96
冠動脈MR A	108
心臓カテーテル検査	182
経皮的冠動脈形成術	103
経皮的末梢動脈形成術	-
恒久的ペースメーカー植込術	17
ジェネレーター交換	5
急性心筋梗塞	53

消化器内科領域

C型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	0
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	41
肝臓に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	0
消化器癌（肝臓以外）化学療法	43

血液内科領域（新規入院患者のみ 重複は除く）

悪性リンパ腫	85
骨髄異型性症候群	25
多発性骨髄腫	9
急性骨髄性白血病	17
急性リンパ性白血病	0
自己免疫性溶血性貧血	0
特発性血小板減少性紫斑病	0
慢性骨髄性白血病	9
その他骨髄増殖性腫瘍	1
血栓性血小板減少性紫斑病	0
発作性夜間血色素尿症	0
原発性マクログロブリン血症	0
その他血液疾患	11

## 2. 総合外科・消化器外科

外科部長 野口 岳春

疾病・術式・検査 (2020)

単位：件

<b>胃、十二指腸</b>		<b>12</b>
胃癌	幽門側胃切除	1
胃癌	腹腔鏡下幽門側胃切除	0
胃癌	胃全摘術	4
胃癌	残胃全摘術	7
胃癌	腹腔鏡下胃局所切除	0
十二指腸潰瘍穿孔	穿孔部閉鎖大網被覆術	0
<b>小腸</b>		<b>19</b>
腸閉塞	腹腔鏡下イレウス解除術	1
腸閉塞	イレウス解除術（腸管切除あり）	2
腸閉塞	イレウス解除術（腸管切除なし）	4
小腸穿孔	小腸部分切除術	10
回腸人口肛門造設後	人工肛門閉鎖術	2
<b>虫垂</b>		<b>24</b>
急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	24
急性虫垂炎	開腹虫垂切除術	0

疾病・術式・検査 (2020)

単位：件

<b>大腸</b>	<b>62</b>
結腸癌 開腹結腸切除	18
結腸癌 腹腔鏡補助下結腸切除	21
結腸癌 腹腔鏡下回腸人工肛門造設術	5
悪性リンパ腫 開腹結腸切除	0
直腸癌 開腹直腸切除	6
直腸癌 腹腔鏡補助下直腸切除	4
直腸癌 経肛門腫瘍切除	1
良性大腸穿孔 結腸切除術	5
結腸人工肛門造設後 人工肛門閉鎖術	2
<b>胆嚢</b>	<b>68</b>
胆嚢結石症（胆嚢炎） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	55
胆嚢ポリープ（腫瘍） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	4
胆嚢結石、総胆管結石 開腹胆嚢摘出＋総胆管切開採石術	9
<b>膵、胆管</b>	<b>1</b>
肝門部胆管腫瘍 肝左葉切除	0
胆嚢癌、膵胆管合流異常 胆嚢摘出（肝床部切除）＋肝外胆道切除再建	1
膵腫瘍 膵体尾部切除	0
<b>ヘルニア</b>	<b>61</b>
鼠経ヘルニア 前方アプローチによる根治術	46
鼠経ヘルニア 腹腔鏡による根治術	6
大腿ヘルニア 根治術	4
腹壁癒痕ヘルニア 開腹根治術	5
臍ヘルニア 根治術	0
<b>肛門</b>	<b>6</b>
痔核 結紮切除術	0
痔瘻 根治術	5
肛門ポリープ ポリープ切除術	1

疾病・術式・検査 (2020)

単位：件

<b>乳腺</b>	<b>16</b>
乳癌 乳房切除+リンパ節郭清	8
乳癌 乳腺部分切除+リンパ節郭清	6
乳腺腫瘍 腫瘍摘出術	2
<b>甲状腺</b>	<b>15</b>
甲状腺腫瘍 全摘術	7
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	2
甲状腺機能亢進症 摘出術	4
副甲状腺機能亢進症 摘出術	1
リンパ節再発 頸部リンパ節郭清	1
<b>体表</b>	<b>9</b>
リンパ節腫脹 リンパ節生検	6
皮下埋め込み型カテーテル挿入	3
<b>その他</b>	<b>0</b>
<b>合 計</b>	<b>293</b>

### 3. 小児科

小児科部長 稲見 由紀子

小児科では 2020 年度、外来診療を中心に、一般診療と専門診療（小児循環器、小児心理、小児免疫、小児精神）の連携を取りながらの診療を行いました。

今年度は新型コロナで大きく行動様式が変化したことと、長期の休校が大きく影響し、小児科の急性呼吸器感染症、流行性疾患は著明に減少しました。中でも乳児の呼吸困難の原因となりやすいRSウイルスについては全国でもほとんど発生がなく、これは今までに経験のないことでした。インフルエンザも2020年の1月までは発生していましたが、その後はほとんど見られないまま、2020-2021シーズンは経過しています。

逆に休校や生活の変化に伴う生活習慣、運動不足に伴う心身の不調が多く見られ、肥満、心身症、なかでも起立性調節障害や摂食障害など思春期の児童の不調による受診が2020年の後半は目立ちました。通常的生活では不調ながらもなんとか過ごせていた子どもたちにとって、規則正しい生活が送れなくなること、不安が強くなる社会の影響がいかに大きなものなのかを小児科医として思い知らされる1年でした。

予防接種、乳児検診についても新型コロナの流行時の受診控えによって、接種率や受診率が低下し、適切な時期に予防接種が打てない、あるいは乳児期早期に発見すべき疾患のチェックが遅れるなどの問題が見られています。これらについては適切な時期の受診、予防接種の大切さの啓蒙を続けるとともに、患者さんが安心して受診できる環境、診療体制の整備に努めました。

予防接種については、ロタウイルスワクチンが定期接種に導入されたこと、異なる予防接種同士の接種間隔の規定が大きく変更されたことが今年の大きな動きです。生ワクチン注射同士は4週間間隔をあけることが必要とされますが、それ以外の不活化ワクチン、ロタウイルスワクチンについては他種ワクチンとの間隔の制限はなくなりました。これにより乳児期のワクチンスケジュールについて、かなり日程調整がしやすくなりました。

子宮頸がん（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、定期接種ながら積極的干渉が控えられて長らく経過しています。接種の有効性、勧奨の再開について小児科学会、産婦人科学会ともに強く要請を出していますが、なかなか実現されませんが、接種を希望される人数は徐々に増加してきています。自費接種で

はありますが、9価ヒトパピローマワクチンも国内接種が可能となりました。諸外国に遅れつつも徐々に体制は整ってきています。ワクチンに対する正しい理解と副反応についての考え方について、更に啓蒙が必要とされています。

新型コロナウイルス感染症は、幸い小児では重症化リスクは低く、実際に茨城県でも小児の重症例は今のところ発生しておりません。引き続き慎重な経過観察は必要ですが、特にこどもについては十分な予防策、発生した場合の過剰な対応、差別などに注意を払われており、教育機関でも集団発生時などを除いて、教育活動を止めることなく継続していく方針となってきました。年度初めと比較して、かなり対応は柔軟にとれるようになりました。

いろいろな面で通常とは異なる1年でしたが、電話再診など必要に迫られて導入した制度を活用しつつ、こどもにとってより良い医療環境を提供することに努めました。

#### 予 防 接 種 (2020)

単位：件

BCG	24
B型肝炎	71
アクトヒブR (インフルエンザ桿菌)	62
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	99
水痘 (水ぼうそう)	88
MR (麻疹、風疹)	105
インフルエンザ	833
二種混合	54
三種混合	0
日本脳炎	247
子宮頸がん	14
肺炎球菌	114
<b>合 計</b>	<b>1,711</b>
<b>乳児健診</b>	<b>67</b>

#### 4. 内視鏡科

術式・検査 (2020)

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	2,399
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	601
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	36
	経皮的内視鏡的胃瘻造設術	15
合	計	3,051

## 5. 脳神経外科

脳神経外科部長 松岡 剛

術式・検査 (2020)

単位：件

脳腫瘍	開頭摘出術	4
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	2
	未破裂脳動脈瘤	23
	頸部内頸動脈ステント留置術	4
	脳動静脈奇形	0
	高血圧性脳内出血	1
	血栓回収術	8
	外傷	急性硬膜外血腫
	急性硬膜下血腫	3
	慢性硬膜下血腫	29
水頭症	脳室シャント術	10
その他		50
合 計		(*血管内手術) 137

## 6. 整形外科

副院長 梅原 新英

### 術式 (2020)

単位：件

#### 外傷

四肢・骨盤骨折	骨折観血の手術、関節内骨折観血の手術	234
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	49
偽関節手術		4
関節脱臼	観血的整復術	8
関節脱臼	非観血的整復術	22
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	24
腱断裂（アキレス腱断裂含む）	腱縫合術、腱移行術	17
	小計	358

#### 関節手術

膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	10
関節内遊離体（膝、肘、足関節）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	3
膝関節炎など	滑膜切除術（関節鏡視下）、化膿性関節炎清掃術	3
肩腱板断裂手術（関節鏡視下）		1
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	23
リウマチ性膝関節症	人工股関節置換術、再置換術	0
変形性膝関節症	人工膝関節置換術、再置換術	14
変形性膝関節症	高位脛骨骨切り術	7
	小計	61

## 術 式 (2020)

単位：件

## 脊椎手術

頚椎症性脊髄症、頚椎椎間板ヘルニア、頚髄損傷など	椎弓形成術	11
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	0
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	13
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離こり症など	脊椎固定術	20
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	8
椎体骨折・偽関節	経皮的椎体形成術	-
	小計	52

## その他

骨腫瘍	切除術	1
軟部腫瘍、ガングリオン、滑液包	摘出術	2
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	21
肘部管症候群	神経移行術	0
手根管症候群	手根管開放術	7
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽など	切断術、断端形成術	3
骨折手術後など	骨内異物除去術	92
その他		15
	小計	141

## 合 計

612

## 7. 形成外科

形成外科医長 平野 由美

コロナの影響で緊急性のない手術は控えています。

### 術式・検査 (2020)

単位：件

皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm未満）	70
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm以上， 4 cm未満）	14
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm以上）	4
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm未満）	38
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm以上， 6 cm未満）	9
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm以上， 12 cm未満）	5
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm以上）	1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）	11
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	10
瘢痕拘縮形成手術（顔面）	1
瘢痕拘縮形成手術（その他）	0
鼻骨骨折整復固定術	4
頬骨骨折観血的整復固定術	2
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術	5
全層植皮術	3
分層植皮術	8
眼瞼内反症手術（逆さまつげ）	6
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	3
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	4

術式・検査 (2020)

単位：件

ガングリオン摘出術（粘液嚢腫、ヒグローム含む）	19
先天性耳瘻管摘出術	1
耳介腫瘍摘出術	4
副耳切除術	2
陥入爪手術	4
レーザー治療	2
入院局所陰圧閉鎖処置	1
合 計	232

## 8. 泌尿器科

泌尿器科医長 黄 鼎文

4月より常勤医師1名が着任しました。5月より女性泌尿器科外来を開設しました。常勤医着任により、手術が必要な症例に対応できるようになりました。今後も泌尿器科一般疾患、女性泌尿器科疾患を中心に、外来、入院診療を充実していく予定です。

### 術式・検査名 (2020)

単位：件

前立腺針生検	30
経尿道的膀胱腫瘍切除 (TUR-Bt)	9
経尿道的前立腺切除 (TUR-P)	1
経皮的腎瘻造設術	3
経皮的膀胱瘻造設術	1
陰嚢水腫根治術	1
腹腔鏡下膀胱脱手術 (LSC)	5
尿失禁手術 (TVT スリング)	2
その他	1
合 計	53

## 9. 皮膚科

皮膚科医長 永江 美香子  
萩原 佐恵子

当院皮膚科では、常勤医師2名、非常勤医師2名で、午前中2診療体制をとっています。皮膚科一般診療を中心として診療を行っており、帯状疱疹など比較的軽症患者の入院を受け入れています。

デュピクセント、ゾレア、腋窩多汗症ボトックス、SADBE 治療、エピペン処方が可能です。

生物学的製剤については筑波大、東京医大茨城医療センターとの連携、導入、維持投与を行っています。

パッチテスト用試薬として、金属パッチテスト用試薬15種（水銀はなし）、パッチテストパネルSがございます。

紫外線照射機器はございません。

自費診療として、帯状疱疹生ワクチン、脱毛レーザー治療（Gentle Lase）、ピアッシング（耳垂のみ）、20%塩化アルミニウム液、ハイドロキノン軟膏、グラッシュビスタ（まつげ美容液）院内処方、男性型脱毛プロペシア、ザガーロ院外処方が可能です。

### 術式・検査 (2020)

単位：件

レーザー脱毛	22
皮膚生検	41
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	49
皮膚切開術（長径10cm未満）	87
合 計	199

## 10. 眼科

眼科医長 矢部 美香子

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医1名体制となっております。手術については白内障手術、外眼部手術、および外来網膜レーザー手術などを行っております。月曜は常勤医と筑波大非常勤医師との2診体制で診療を行っております。よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいきたいと考えております。COVID19の影響もありましたが、ひきつづき感染対策を徹底して安全な医療を心がけていきたいと思っております。関連病院とも連携させていただき、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っております。

### 疾患および術式 (2020)

単位：件

白内障：水晶体再建術	75
麦粒腫 霰粒摘出術	4
眼瞼下垂手術	2
眼瞼腫瘤切除	3
翼状片切除術＋結膜弁移植術	1
合 計	85

## 1 1 . 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 河地 誉

2020年4月から、医局員の変更に伴い、常勤医3名、非常勤医1名、歯科衛生士3名の体制で、診療を行っています。

対象とする疾患は、主に口腔外科・口腔内科疾患としており、齲蝕や歯周病などの一般歯科診療は、緊急の場合を除き、連携登録歯科医院に紹介を行っています。また、循環器系疾患や抗凝固薬などを多剤内服されている患者さんは、入院管理下において全身状態を厳重に管理しながら、処置等を行っています。

院内の連携としては、消化器領域、呼吸器領域の悪性腫瘍の術前、人工関節置換、脳卒中の手術の術前、また化学療法、緩和ケアの方を対象として、誤嚥性肺炎などの合併症予防、経口摂取の早期開始また入院期間の短縮のため、周術期口腔機能管理を行っています。

院内外における密な連携のもと、円滑かつスピーディーに適切な医療を行うことを意識しています。

単位：件

[1] 全身麻酔における手術	計 57
抜歯術	(内訳) 33
顎骨腫瘍摘出術	17
顎堤形成術	1
舌腫瘍摘出術(良性)	2
口腔外消炎手術	1
気管切開術	1
唾石摘出術	2
下顎(良性)腫瘍	6
[2] 短期入院症例	計 61
抜歯術	(内訳) 40
その他	21
[3] 周術期口腔機能管理	計 135
外科、整形外科、内科からの依頼など	

## 12. 耳鼻咽喉科

術式・検査 (2020)

単位：件

扁桃周囲膿瘍切開術	1
鼓膜切開術	32
鼻内異物摘出術	1
鼻中隔矯正術	0
鼻甲介切除術	0
咽頭異物摘出術	9
扁桃摘出術	0
副鼻腔手術	56
鼓室形成術	1
頸部手術	6
その他	20
合 計	126

### 13. 麻醉科

麻醉科部長 古謝 宏樹

術式・検査 (2020)

単位：件

<b>全身麻酔症例</b>	
外科	266
整形外科	513
口腔外科	66
脳神経外科	72
救急科	35
形成外科	51
耳鼻咽喉科	9
内分泌科	15
泌尿器科	23
<b>静脈麻酔症例</b>	
救急科	-
整形外科	1
形成外科	-
<b>脊髄クモ膜下麻酔症例</b>	
泌尿器科	26
形成外科	-
整形外科	3
外科	5
<b>脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例</b>	
整形外科	-
外科	-
<b>伝達麻酔症例</b>	
整形外科	1
形成外科	-
合 計	1086

## 14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、マンモグラフィー、上部下部消化管透視撮影、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

尚、2019年に最新型X線テレビシステムが導入されました。このシステムには、大視野フラットパネルディテクタが搭載されていることから、消化管検査から泌尿器造影検査、整形外科領域まであらゆる検査が可能となりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

### 【導入装置】



FLEXAVISION F3package (島津メディカルシステムズ社製)  
2019年7月設置

## 15. 救急医療科

部長兼救急・外傷センター長 佐藤 孝幸

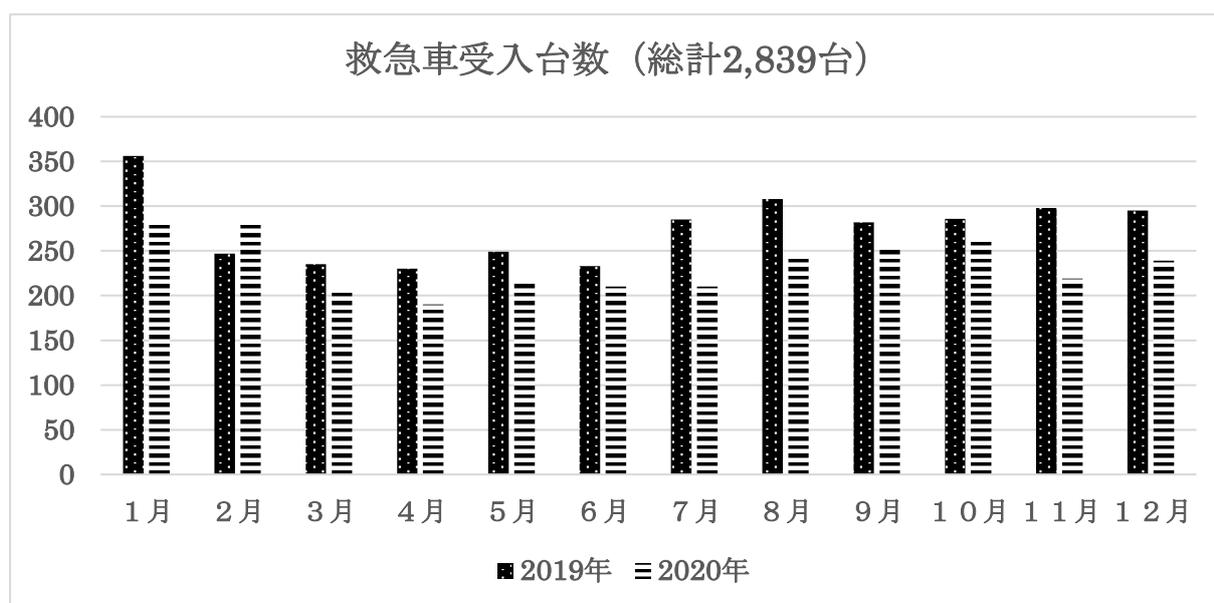
集中治療部長 出口 善純

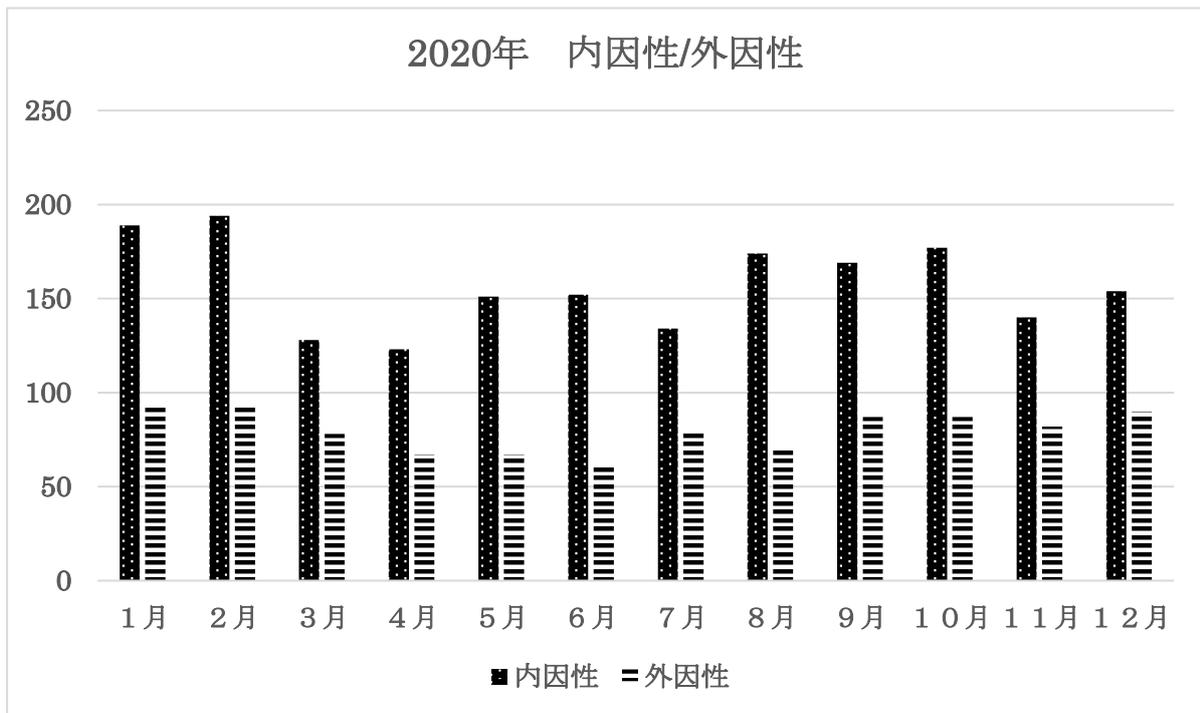
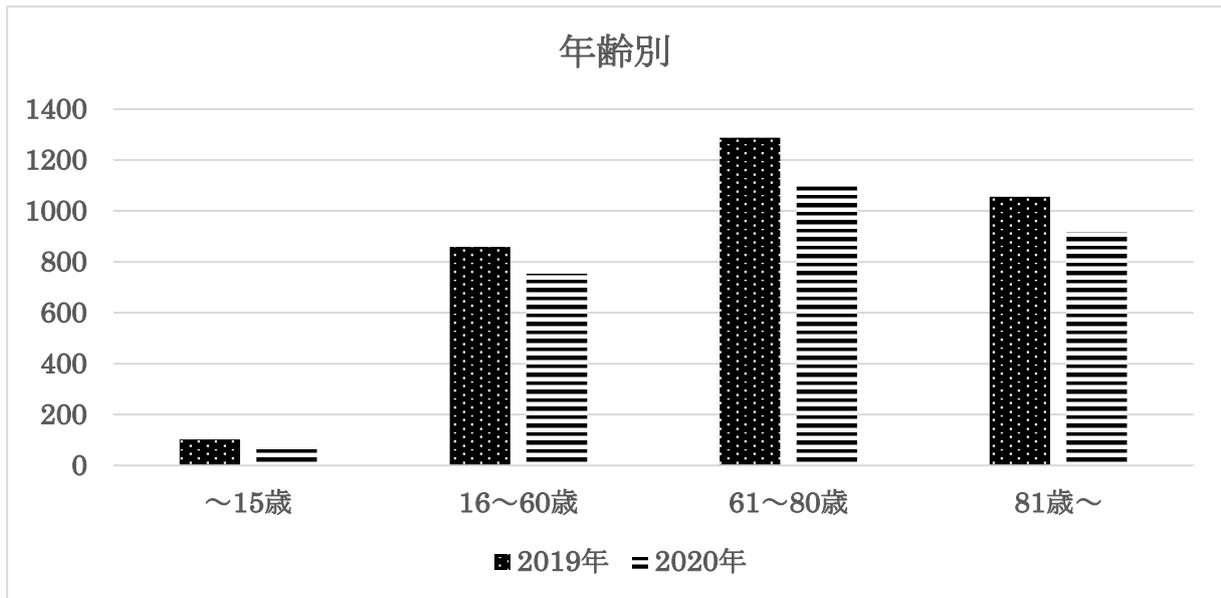
救急医療科は2019年5月に開設され、以降救急指導医3名を含む専門医6名（常勤医3名）にて、地域救急医療の発展に尽力してまいりました。2019年度は3,304台と過去最高の救急搬送数に至りましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響から不要不急の地域救急要請患者数が減り、計2,839台と搬送数の減少となっております。しかしながら、重症疾患搬送患者は依然として多く、搬送後、緊急入院となる患者は1425人（50.2%）と昨年度を上回っております。年齢別には65歳以上の高齢者の搬送が大半を占め、80歳を越える超高齢者の搬送も目立っております。疾患別では、事故、外傷などの外因性疾患に比べ、内因性疾患が優位となっております。

当科での2020年度の手術件数は35件で、気胸手術、肋骨骨折に対する観血的手術をはじめ、腹部手術、緊急外傷手術に至るまで多岐にわたっております。

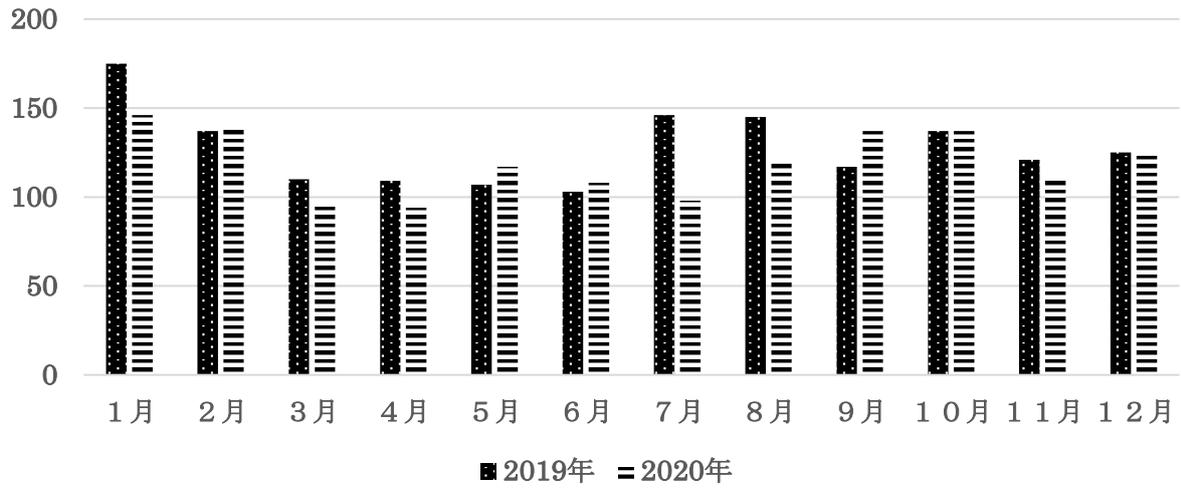
2020年9月には災害拠点病院の認可がおり、地域災害医療の中心をなすべく益々活動の場を広げております。また、引き続き、稲敷広域消防における教育施設として、救急救命士の教育、レベルアップにも努めております。

さらに2021年4月からは筑波大学より後期研修レジデントの派遣も決定し、より充実した救急医療の実践が可能となると考えております。





救急車受入入院件数 (1425人)



手術術式 (2020)

単位：件

観血的整復固定術	8
気胸手術	8
開腹胆嚢摘出術	3
腹膜炎手術	3
腹腔鏡下胆嚢摘出術	2
小腸切除 (外傷による)	2
腹腔鏡下虫垂切除術	2
人工肛門閉鎖術	2
その他手術	5
<b>合 計</b>	<b>35</b>



2020/11/29 航空機不時着訓練より